

産業デザイン科スペースデザイン選択施工実習に関する作業手順書の作成(2)

産業デザイン科 安次嶺 瑛子
若島 英司

1 はじめに

産業デザイン科スペースデザインにおける施工実習内容を職種別に整理すると、システム施工、内装施工、木材加工、舞台美術制作といった具合に多岐にわたっている。ところが、専用の指導書や訓練時に使用する作業手順書は市販されておらず、実習時に制作する簡易的な図面や部材一覧等の配布物をもとに、指導者の実演や口述等での指導が中心となっている。

指導員一人ひとは、様々な専門分野を持っているが、指導においては、全ての実習授業に対応する必要がある。本研究では、指導内容を標準化するとともに、訓練時にテキストとして活用できる作業手順書を作成する。

2 施工実習について

産業デザイン科のカリキュラムでは、1年次3Qから2年次2Qが選択授業の期間になっており、スペースデザイン選択の総訓練時間512時間のうち、施工実習の訓練時間は192時間と、選択授業のおよそ40%を占めている。例年、施工関連職種に就職する学生が数名いるため、基本的な施工に関する技能や知識が必要となっている。

以下に4つの施工実習の内容を記す。

2.1 システム施工実習

さまざまな展示会・イベントやコンサート等で使用される再利用可能なアルミ製システムユニット部材の取扱いについて学ぶ。



図1 システム施工実習の様子

2.2 内装施工実習

一般的な内装施工（壁仕上げ・床仕上げ）の材料、工具の取扱いについて実習を行う。壁仕上げはビニル

クロス、床仕上げはコンポジションビニル床タイル・長尺シートの施工方法について学ぶ。



図2 内装施工実習の様子

2.3 木材加工実習

木材加工に必要な手工具、電動工具、木工機械の使用法、材料の取り扱いについて学ぶ。



図3 木材加工実習の様子

2.4 舞台美術制作実習

舞台等で使用される背景パネルの加工・組立て、着色、設置・撤去の一連の実習を行い、作業の段取りや工程管理について学ぶ。



図4 舞台美術制作の様子

3 制作方法

作業手順書は、それぞれの実習ごとの、全体の作業工程、使用する道具や工具の一覧、その取扱い方を示した各作業工程の手順やポイントという項目で作成する。

3.1 作業手順書のスタイル

図5は、作業手順書のスタイルを検討したスケッチである。はじめに全体の作業工程を整理し、そのあとのページに各工程の詳細を記し、書き方を統一することで作業手順書を見やすくした。

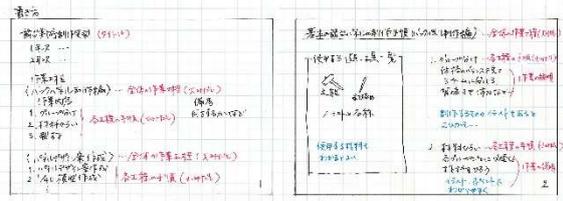


図5 作業手順書のスタイルの検討スケッチ

3.2 作業手順書の作成

実習内容を作業分解し、図6のように全体の作業工程を整理した。テキスト化できる内容は先行作成し、本校ならではの条件などは、実習中に確認しながら加筆していく方針で作成していった。

各工程の詳細は、図7のように部材の加工法・納まりや工具類の持ち方・使用時の注意点をイラストで視覚的に分かりやすくまとめた。

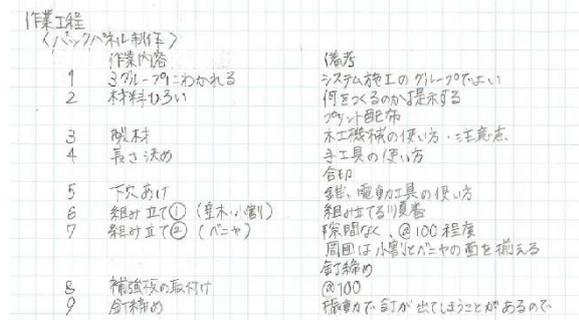


図6 全体作業工程のページの一部

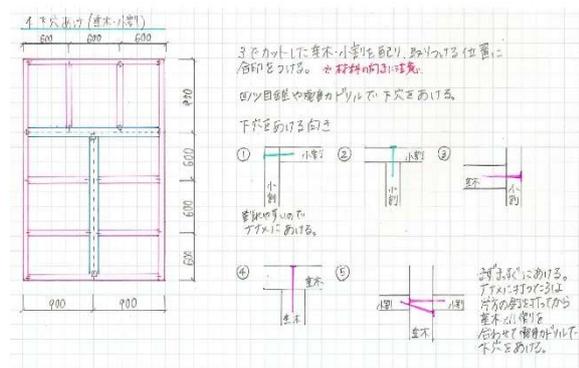


図7 作業工程の詳細のページ

また、道具や工具の使い方、その作業内容の指導方法については、指導員研修や専門書を活用し、取扱い方法や技能、指導のポイントの知識を得た。また、指導員は実習前に練習する時間を設け、研修等で得た技能等を振り返った。そこで、実習時の作業環境や工具類の準備、指導手順、注意点を確認し、都度加筆していった。

4 作成した作業手順書の検証

今年度は、令和3年度に作成した施工実習の作業手順書を完成させた。この作業手順書を用い、システム施工実習について、主担当未経験の指導員が実習を行い、以下の意見をもらった。

- ・ 授業の概要や到達目標、大まかな流れが把握でき、進行状況によってアレンジができる、
- ・ 準備すべき材料や道具、プリントを配るタイミングも記載があり、モレがない。
- ・ 実施しながら、気づきメモしたことをフィードバックすることでより良いものになる。
- ・ 専門用語も多く、学生にとって聞き慣れないものもあり、工具や材料についても具体的に記載があるとよい。

5 おわりに

今回、作成した作業手順書を実際に実習で使用したことで、指導内容が明確になり、実習の段取りもスムーズになったが、不足している部分もあった。スペースデザインを担当する指導員から、今後も意見を聞き、改善していく。

また、作業手順書は、すべて手書きで作成したため、実習内容を都度アップデートできるようデータ化し、指導案作成や引継ぎ資料、配布資料に活用していきたい。

【参考文献】

- (1) 滝 善光, 図解舞台美術の基礎知識(舞台技術入門新シリーズ(4)), レクラム社, 2005.
- (2) 一般社団法人日本壁装協会, 壁装ハンドブック(改訂版), 一般社団法人日本壁装協会, 2007.
- (3) 日装連技能テキスト壁装施工法改訂版編纂委員会, 壁装, 日装連, 1996.
- (4) 日装連技能テキスト・プラスチック床材編改訂版編纂委員会, プラスチック床材編, 日装連, 1996.